

「8.15バルーン大作戦」の報告

～基地や原発のない、
平和な未来を子どもたちへ！～

市民の意見 30 の会・東京
バルーン大作戦プロジェクト 垣内 成子

2011年8月15日（北海道＝8月11・14日）、北海道から沖縄まで「基地も 原発もいらない！どこにも!!」の想いがつながりました。ここに謹んで報告申し上げます。“未来へつなぐ みんなでつながる”をコンセプトに、かの大战で奪われた多くの魂に祈りを捧げ、未来の子どもたちに平和をつなぐ想いを込めたアクション。ご賛同いただいた各地の団体・個人の方々…北海道・福島県・山口県（上関町祝島）・沖縄（高江・読谷・二見）に、全国からお寄せいただいたカンパより風船等を提供し、それぞれの空へ掲げました。また、沖縄・恩納村の国道58号線沿いには横断幕を、沖縄・読谷村ではアドバルーンも掲げました。

カンパをお寄せいただいた皆様、全国各地で協同された団体・個人の皆様に心より感謝申し上げます。また、ご賛同をいただきながら時間的な制約のため実施に至らなかった各団体に感謝とお詫びを申し上げます。

1. 経過報告

2011年4月、市民の意見30の会・東京 (<http://www1.jca.apc.org/iken30/> =以下、本会) 会員が所有する沖縄・恩納村の国道58号線沿いに横断幕とアドバルーンを掲げる「ルート58バルーン大作戦」プロジェクトを立ち上げました。本プロジェクトを進めるなかで「8月15日は同時多発的な行動を！」と全国展開を目指すことになりました。本会会員外の皆様には事後報告となりますが、ご了承下さい。

2. 横断幕のロゴについて

公募した横断幕のロゴに25名の方が応募されました。7月8日事務局会議で、東京都の岩村 利一・幸子さんの「基地に頼らない平和を！ 原発に頼らない生活を！」に決定しました。

3. 収支報告について

お寄せいただいたカンパは、184件・786,471円でした。改めてご協力に感謝し、下記の通り収支報告をいたします。アクションに使用する風船は環境負荷の少ない天然ゴム製+ペーパークリップ（各1,400個）を用い、ヘリウムガス14本・アドバルーンと横断幕の費用等合わせて377,871円となりました。さらにアクションの準備・実行のため、8月13～16日に本プロジェクトより2名を沖縄へ派遣しました。

収支報告書

自2011年4月1日
至2011年8月31日

収入の部			支出の部		
科目	金額(円)	摘要	科目	金額(円)	摘要
カンパ	786,471	184件	広告宣伝費	153,058	チラシ 8,500枚 (3刷分)
			印刷費	18,000	報告書 300部
			通信費	30,500	ヤマトメール便他
			消耗品費	3,400	会議資料が-北-代
			支払手数料	3,780	振込手数料
			運動費	577,473	風船・クリップ 1,400個 = 231,871円 アドバルーン・横断幕 *2 = 146,000円 沖縄アクション派遣費用 = 199,602円
			雑費	260	8/16付 沖縄タイムス・琉球新報
合計	786,471		合計	786,471	

4. 各地のアクション報告

《北海道》

- ① 8月11日、札幌市の中心部にある大通公園近くの三越前にて、「Shut 泊 (<http://shuttomari.blogspot.com/>)」バルーン作戦。
 - ② 8月14日、札幌市大通公園周辺で「Shut 泊」企画に150名が参加し、風船を持って雨中デモ。その後100個の風船を飛ばしました。
- ※泊原発の「プルサーマルを知ろう」後志住民ネットワーク (<http://earthshift.blog.fc2.com/blog-entry-29.html>) 小林 芳子さんに本プロジェクトとの連絡・写真提供など、お骨折りをいただきました。



▲ 8月14日、幼子も懸命の訴え 写真提供:小林 芳子



▲▼ 8月11日三越前 写真提供:五十嵐 敏文 (本会会員)



《福島》

写真提供:小林 麻耶

＝「子ども福島 (<http://kodomofukushima.net/>)」事務局 小林さんよりいただいたご報告

市民の意見30の会・東京様から寄贈いただいた風船300個は、8月15日に福島市内で行われた「8.15世界同時多発フェスティバル FUKUSHIMA!」で配らせていただきました。県内外からの参加者13,000人(運営委員会調べ)の大規模なイベントでした。テーマは脱原発ではありませんでしたし、放射線をあまり気にしていない方が多い中の参加は賛否両論ありましたが、この機会に私たちの会を知っていただき、放射線とはどのようなものかを知るきっかけになってもらえればという思いで参加しました。

私たちは、自由にパフォーマンスできる「音楽区」で風船を配りました。その際に、原発に対しての想いや願いを風船に書いてもらい、思い思いに飛ばしてもらいました。途中、あいにくの雨が降り150個しか配れず、残りの150個は9月11日に福島市内で行われた「9.11アクション」のデモパレードで持っていただきました。風船が加わったことで、パレードがとても華やかになりました。

子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク・事務局
小林 麻耶

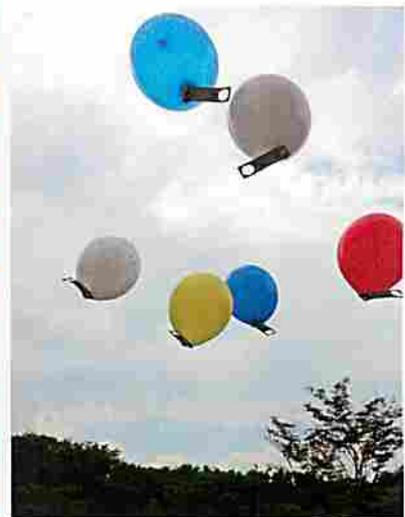
※小林麻耶さんには本プロジェクトとの連絡・ご報告・写真提供など多大なご協力をいただきました。



▲ 風船を準備中



▲ 反原発の想いを込めて



▲ 福島空に舞う風船

《祝 島》

写真提供：山戸 孝

＝「祝島島民の会」事務局・山戸 孝さん談

「上関原発を建てさせない祝島島民の会 (<http://shimabito.net/>)」が、30年に亘って毎週実施している“月曜デモ”の前に、お盆の帰省客や子ども達と風船を膨らませ、一緒に飛ばしました。

風船は島から本土まで飛び、光市の方から風船が届いたとの連絡がありました。原発予定地に隣接する自治体に届いたことは、万が一の事故時に風向きによっては放射能が届くことが分かりました。

※「祝島島民の会」清水 敏保事務局長、山戸 孝事務局（「祝島自然エネルギー100%プロジェクト」=<http://www.iwai100.jp/> 理事）にお骨折りをいただきました。



▲ 子どもたちも一緒に…楽しそう



▲ 沢山の風船が本土まで



▲ 風船の行方を追って

《沖 縄》

写真提供：垣内 成子（本会事務局）

① 8月13日、恩納村の国道58号線沿いに横断幕を設置し、風船を掲げました。

当初予定のアドバルーンは、現地状況（山林等）により、次項の読谷村に変更しました。

② 8月14日、午前中「高江ヘリパッド建設反対」、午後には「辺野古新基地建設反対」の座り込みに参加しました。

③ 8月15日、現在は読谷村村道である読谷補助飛行場跡地（滑走路）で、アドバルーン「基地も原発もない平和を！」を掲げ、正午に30名の参加者で黙祷の後、100個の風船を飛ばしました（「琉球新報」掲載）。

→ 4 ページに続く

※元読谷村議の知花昌一さんにはアドバルーン掲揚場所の確保など絶大なご協力をいただき、“沖縄アクション”を成功させることができました。



▲ 8月13日、恩納村の国道58号線沿いに掲げた横断幕



▲ 読谷の青い空・白い雲に浮かぶアドバルーン



▲ 8月15日、旧米軍滑走路の上に横断幕と東京からの派遣者が持参したプラカードを設置



▲ 読谷村役場、日米地位協定を抜本的に見直せ!!

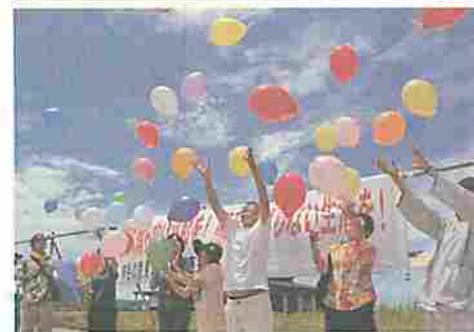
第22464号 (日刊)



2011年 8月16日 火曜日
(平成23年) [旧7月17日・大安]

発行所 那覇市おもろまち1丁目3番31号
(郵便番号900-1678) 沖縄タイムス社
社説部 那覇中央郵便局203号室 沖縄タイムス社 2011年

1版 社 会 28



平和のメッセージをつけて風船を空へ飛ばす参加者
＝読谷村空喜味

【読谷・豊】意見広告や「8・15 基地も原発もいらない沖縄アクション」を取り組む市民団体「市民の意見30の会・東京」は15日、つけた逆射計400個を空に放った。

読谷村空喜味と重村商店に放った。

東村商店では「ヘリパッドいらない住民の会」のメンバーや支援者が参加。住民の会の宮城勝巳さん（58）は「今日は終戦記念日、戦争につながる基地や問題が風船と一緒に飛んでいってほしい」と願いを込めた。

「市民の意見30の会・東京」は各団体と連携し、北海道や福島県、山口県で原発反対運動に取り組む読谷などでも読谷村、読谷のアドバルーンを掲げた。主催事務局の垣内成子さんは「基地も原発も少数に負担を押しつける構図は同じ。現地で連携し、今後一緒に行動したい」と語った。

基地も原発も飛んでいけ

市民団体 風船で平和訴え

風船は突然ゴム製で自然分解される素材を使用。約30人の参加者は「自然といのちを守る」などとプレートに書き込み、ヒマワリの種とともに一斉に坂道を飛ばした。

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

第36854号

(日刊)

2011年(平成23年)

8月16日 火曜日

[旧7月17日・大安]

発行所 琉球新報社
〒900-8525那覇市天久905番地
電話 098(865)5111
©琉球新報社2011年

沖縄、福島、山口で風船900個

【東】「市民の意見30の会・東京」は終戦記念日の15日、沖縄、福島、山口の3県で、各地の市民団体と風船約900個を揚げ

基地と原発の撤去を訴えた。

風船を揚げたのは東村高江のヘリパッド建設現場、読谷補助飛行場跡地、福島県福島市のあずま球場、中国電力が原発建設を計画する山口県上関町、北海道札幌市でも

11、14の両日に計200個の風船を揚げた。

同会の垣内成子さん＝東京＝は「基地も原発も国策で住民が被害を受けている。人々に問い掛けていきたい」と話した。

高江では、建設現場前の座り込みデモ

3カ所に風船150個をくくりつけた。「ヘリパッドいらない住民の会」の宮城勝己さんは「終戦から66年たつが基地はなくならない。風船と一緒に米国に飛んでほしい」と話した。

④「高江ヘリパッドいらない住民の会 (<http://takae.tida.net/>)」が米海兵隊北部訓練場の「N4とN1」ゲート前で風船を揚げました(「沖縄タイムス」掲載)。

※「住民の会」ブログに掲載され、参加された皆様にも楽しんでいただけたようです。

写真提供:「住民の会」



▲ 「N4・Aテント」



▲ 「N4・Bテント」



▲ 「N1テント」

《個人》

①「沖縄環境ネットワーク (<http://okikannet.tida.net/e3340858.html>)」事務局でアーティストのKEN子さんが8月6日から福岡などで風船を揚げました。

② 8月15日朝、東京からの派遣者が宿泊した名護市二見(辺野古の近く)の「民宿てるや」中庭で、他の宿泊者とともに風船を飛ばしました。



▲ 8月6日福岡、中央にKEN子さん

写真提供:KEN子



▲ 8月15日、基地はいらない!どこにも!!の想いを込めて



▲ 8月14日、ペーパークリップに想いを記す同宿のご家族
写真提供:垣内 成子(本会事務局)